

地域医療を担うドクター vol.12 医療法人 光穂会 森のクリニック



宮崎市で透析・腎疾患に特化した診療を行っている「医療法人光穂会 森のクリニック」院長の窪山美穂先生にお話を伺った。

自ら行動することの大切さ オーバーナイト透析に取り組む

オーバーナイト透析(就寝時間を利用した長時間透析)のメリットは多くの学会等で発表されているが、実際にオーバーナイト透析を行なっている透析施設は少ない。今回、宮崎市でオーバーナイト透析を行なっている医療法人光穂会「森のクリニック」院長 窪山 美穂先生に取材する機会を得た。

「私は、失礼を承知の上で長年に渡り兵庫県でオーバーナイト透析を行なわれている坂井瑠美先生に『学会等でオーバーナイト透析には多くのメリットがあると聞いて、私はオーバーナイト透析をどうしても自院でやりたいと思っています。しかし、やり方が全くわかりませんので教えて下さい。』と1通のメールを送りました。」



森のクリニック

「そうしましたら、坂井先生からすぐに返事のメールを戴きました。その内容は『メールを読んで、窪山先生の姿が眼に浮かぶようです。』と書いてあり、オーバーナイト透析で気をつけなければならない洗浄や消毒のタイミングなどが詳しく書かれてありました。そして最後に『とにかくやってみなさい!』という言葉。そのメールに後押しされてオーバーナイト透析を開始しました。」と話す窪山先生。

「それまで私は、坂井先生のように著名な先生に突然メールで相談することは失礼にあたるのではないかと随分迷いました。しかしオーバーナイト透析をどうしてもやりたくて“悩むより行動してしまえ!”と勇気を出してメールを送りました。現在オーバーナイト透析を行なっているのは坂井先生のご指導の賜物と思い感謝しています。」

「オーバーナイト透析の最大のメリットは、透析を受ける患者さんの就労支援に繋がることだと思います。これは在宅透析のメリットと重なる部分ですが、オーバーナイト透析では透析患者さんが夜間寝ている間に透析を受けることになります。つまり、透析時間を十分に確保できるため、身体への負担を少なくして水分や毒素の除去を行うことができます。これは血圧の安定化や貧血の改善など、多くの効果があります。当然薬の使用量も少なくなります。だから、オーバーナイト透析を受けている患者さんは食欲があり、本当に元気で昼間フルタイムの仕事に就くことも可能です。これにより仕事の幅を拡げることになり、患者さんのQOL向上に直結すると思います。もしも私が透析を受けることになったら、迷うことなくオーバーナイト透析を選ぶと思います。」

スタッフの労務管理に悩む クリニック理念“CSよりES”

「オーバーナイト透析を行なうには、スタッフの協力が欠かせません。当院のスタッフは、患者さんとその家族の役に立つのであればと夜間就労を厭わず働いてくれています。本当に感謝しています。」

しかしそんな先生も、開業当時はスタッフの労務管理に随分頭を悩まされたという。

「開業して間もなく私はスタッフの一人ひとりがもっとモチベーションを高く働き続けるにはどうすれば良いのか?と考えました。そして試行錯誤の末にたどり着いた結論は、“院長は一人ひとりのスタッフのことをしっかり見ている”ということでした。私は日々の診療において、スタッフに『頑張ってるね!』とか『ありがとう!』という感謝や労いの言葉をよくかけますし、スタッフを叱ることもあります。スタッフとの距離が少しずつ縮まっていったのは、私と同じようにスタッフ一人ひとりにも家族があり、それぞれの大切な人生があることに気づくことができたからだと思います。また私は、スタッフに自分が考える理想の医療について話すことも大切だと思います。」

「スタッフのモチベーションを高めるには“やればやっただけの評価を与える”ということが人事考課において重要だと思います。当院では、賞与前にスタッフに対して自由参加のテストを行い、正解の数に応じて賞与額をプラスしています。もちろん出来なかったからといって、賞与を減らすことはありません。また、専門的な勉強会を定期的に行い、一定のレベルに達したスタッフには能力給を与えています。当院の経営理念に“CS(患者さん満足度)より ES(スタッフ満足度)”と掲げているのは、スタッフの仕事に対する満足度が低ければ、患者さんの満足度を高めることはできないと考えているからです。」

「今ではスタッフが積極的に勉強会に参加してくれますが、開



受付の様子

業時は一人でも多くのスタッフに参加してもらうために弁当を出していたこともあります。」と笑って話された。

医師同士の激論 人生の転機を促す

「私は、もともと医師を目指していた訳ではありません。高校を卒業すると、臨床検査技師になるために医療短期大学に入学しました。医療短期大学3年生の時、九州大学附属病院で実習を受けることになりました。そんな実習のある日、医師同士が侃々諤々の議論を交わしている場面に遭遇しました。私は、医師が喧嘩していると思ひびっくりしました。」

「しかし、内容を聞いているとすぐにそうでないことがわかりました。それは患者さんの治療方針に対する激しいやりとりでした。私にとって、その学術的なやり取りは衝撃的でした。この医師同士の論争を見てからというもの、せっかく医療に関わるのであればもっと道を究めたい、つまり、医師になってもっと燃えるような情熱を感じたいという考えが私の頭から離れなくなりました。そして、両親に医師を目指したいと相談しました。」

「両親は私の意志の固さを確かめると、医療短期大学を卒業することを条件に国公立大学の医学部受験を許してくれました。私は、医療短期大学卒業と同時に医学部を受験しましたが、そんなに上手くいくはずもなく、その後2年の時間を経て、宮崎大学医学部へ入学を許されました。私は、現役で医学部に入学した人と比べると5年長くかかってしまったこととなります。いつの日からか、私はその5年間を取り戻すために他の人よりプラス10%頑張らないといけないと自分にプレッシャーを与えて勉強するようになりました。」

「私は医学部で専門課程に進む時、人間全体を総合的に診るためには循環器系・腎臓系を学ぶことが重要であると考え、第一内科を選びました。そして、慢性疾患の診療に取り組むことが自分の性格に合っていると思い、腎臓を専門に勉強しました。」

患者さんのプライバシーに配慮 病院らしくないクリニックをめざす

「大学での研修を終え、宮崎県立日南病院や宮崎江南病院に勤めた後、平成17年12月、宮崎県児湯郡新富町にある閉院されたままの透析クリニックを改装し開業しました。クリニックの名称は、患者さんが花や緑に囲まれて心地よいと感じるような医療を提供したいという想いをこめ“花と緑のクリニック”にしました。そこで4年間、透析医療や高血圧・糖尿病など慢性疾患を中心に内科診療を行ないました。診療を行っていくうちに、当時の透析室の環境は患者さんのプライバシーに全く配慮していないことに気づきました。それを改善するために、直ぐにでもベッドとベッドの間にパーテーションを置きたいと考えたのですがその時の透析室の広さではそれを実現することはできませんでした。そして、いつか必ず患者さんのプライバシーにもっと配慮した医療を行ないたいと考えようになりました。」

「そんなある日、『花と緑のクリニック』の浴道が拡張されるといふ計画が持ち上がりました。浴道が拡張されると交通量が増え騒音の問題などから医療に支障が出ると思い、私は移転することを決めました。そして“病院らしくないクリニック”をつくることを考え、平成21年11月、現在の『森のクリニック』へ移転開業しました。『森のクリニック』は、宮崎市内であるにもかかわらず名前の通り森に囲まれています。環境が患者さんに与える影響を考えて電線などは埋設し、駐車場も入口からは見えないよう

にしました。また透析室は、前クリニックでは実現できなかった個室感覚のパーテーションを設置しました。パーテーションの高さは、スタッフが患者さんの異変に気づける高さになっています。さらに、看守りが必要な患者さんのために6床だけパーテーションのない透析室もつくりました。それぞれの透析ベッドの横には窓を設置し、患者さんに四季の変化を感じてもらおうように配慮しています。また、患者さんに長い透析時間を少しでも快適に過ごしてもらいたいと考えてテンピュール社製のベッドを導入しています。透析患者さんが元気になるためには『やれることは何でもやる』という方針のもと個々の患者さんの体調に合わせた透析治療ができるようにオンライン HDF も行なっています。これだけ幅広い診療体制が築けたのは、スタッフの協力があってこそだと思います。」



パーテーションで区切られた透析ベッド

窪山先生に、将来の夢を尋ねると「ハワイに透析クリニックをつくりたいですね。それは、透析患者さんが安心して海外旅行を楽しめるようにしたいと思うからです。」と語られた。

編集後記

取材を通じて窪山美穂先生が患者さんの治療効果やスタッフの能力を高めようと努力されている様子が良く理解できた。そして、患者さんのプライバシーへの徹底した配慮がとても印象的であった。

施設名: 医療法人 光穂会
森のクリニック

場所: 宮崎市芳士 2033-1
URL: <http://morinoclinic.jp/index2html>

取材・編集担当
アイティーアイ株式会社 営業本部 満尾・小川
福岡市博多区博多駅南 3-7-37
Tel: 092-472-1881

支社
福岡・熊本
支店
北九州・久留米・佐賀・長崎・佐世保・大村・大分・八代・鹿児島・宮崎・沖縄
営業所
山口・筑豊・五島・天草・延岡・都城・川内・鹿屋・沖縄中部
連絡事務所
東京・東関東・千葉・東京西・東京北・神奈川・つくば・川越・大阪